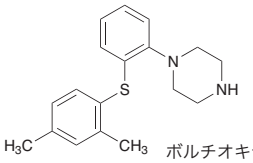
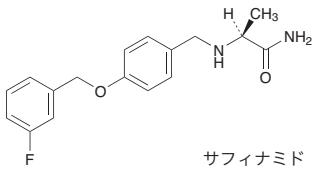
「新しい疾患薬理学」追加情報：2019 年承認新薬

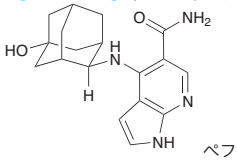
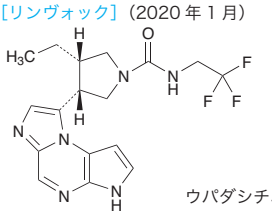
（一部参考情報含む）

㈱南江堂　2020.3

2 章 A　精神科・神経内科領域の疾患に用いる薬物

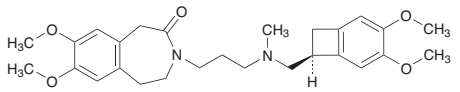
種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
抗うつ薬・抗躁薬		
セロトニン再取り込み阻害薬		
●ボルチオキセチン臭化水素酸塩 ［トリンテリックス］（2019 年 11 月）  ボルチオキセチン	セロトニン再取り込み阻害作用によって細胞外セロトニン濃度を上昇させるとともに，5-HT_3，5-HT_7，5-HT_{1D} 受容体へのアンタゴニスト作用，5-HT_{1A} 受容体アゴニスト作用および 5-HT_{1B} 受容体部分アゴニスト作用，といったセロトニン受容体調節作用によって，複数のモノアミン（セロトニン，ノルアドレナリン，ドパミン，アセチルコリン，ヒスタミン）の遊離を調節する	悪心，傾眠，頭痛など 重大な副作用：セロトニン症候群，痙攣，抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）
パーキンソン病治療薬		
モノアミン酸化酵素 (MAO-B) 阻害薬		
●サフィナミドメシル酸塩 ［エクフィナ］（2019 年 9 月）  サフィナミド	選択的かつ可逆的な MAO-B 阻害作用を有し，内因性およびレボドパ製剤由来のドパミンの脳内濃度を高める．非ドパミン作動性作用（電位依存性ナトリウムチャネル阻害作用を介するグルタミン酸放出抑制作用）を併せ持つ	幻覚等の精神症状，傾眠，突発的睡眠，衝動制御障害，セロトニン症候群，悪性症候群など

3 章　免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と治療薬

種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
自己免疫疾患治療薬 免疫抑制薬（免疫抑制作用を主な作用機序とする抗リウマチ薬を含む）		
その他の免疫系に作用する薬物		
●ペフィシチニブ臭化水素酸塩 ［スマイラフ］（2019 年 3 月）  ペフィシチニブ	JAK 選択的阻害薬．サイトカインの細胞内シグナル伝達を抑制	感染症，好中球減少症，リンパ球減少症，ヘモグロビン減少症，消化管穿孔，肝機能障害，黄疸，間質性肺炎
●ウパダシチニブ水和物 ［リンヴォック］（2020 年 1 月）  ウパダシチニブ	JAK 選択的阻害薬．サイトカインの細胞内シグナル伝達を抑制	感染症，消化管穿孔，好中球減少症，リンパ球減少症，ヘモグロビン減少症，肝機能障害，間質性肺炎，静脈血栓塞栓症
希少疾患治療薬		
●ラブリズマブ［ユルトミリス］ （2019 年 6 月）	抗ヒト補体 C5a ヒト化モノクローナル抗体	髄膜炎菌感染症，infusion reaction，頭痛

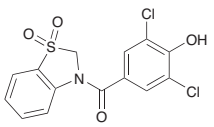
4 章 A　循環器内科領域の疾患に用いる薬物

種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
心不全治療薬		
HCN チャネル遮断薬		
●イバブラジン塩酸塩［コララン］（2019 年 9 月）	HCN4(過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャネル 4) を阻害することで過分極活性化陽イオン電流を抑制し，拡張期脱分極相における活動電位の立ち上がり時間を遅延させ，心拍数を減少させる	徐脈，房室ブロック，QT 延長



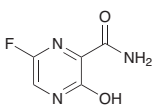
イバブラジン

7 章 A　糖尿病・代謝系内科領域の疾患に用いる薬物

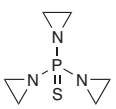
種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
糖尿病治療薬		
インスリン製剤		
●インスリンアスパルト［フィアスプ］（2019 年 9 月）	超速効型インスリンアナログ製剤で，ニコチン酸アミドを添加することにより，初期吸収を速めた製剤	低血糖
高尿酸血症・痛風治療薬		
痛風発作治療薬		
●ドチヌラド［ユリス］（2020 年 1 月） 	腎臓の尿酸トランスポーター（URAT1）を阻害することにより，尿酸の尿中排泄を促進し，血中尿酸値を低下させる	尿路結石

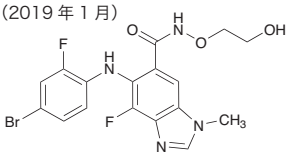
9 章 A　感染症内科領域の疾患に用いる薬物【参考情報】

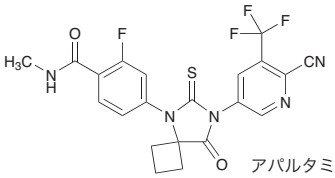
※ファビピラビルは，2019 年新薬ではないが，他の抗インフルエンザウイルス薬が無効または効果不十分な新型または再興型インフルエンザウイルス感染症が発生し，国が使用すると判断した場合にのみ，患者への投与が検討される医薬品である．

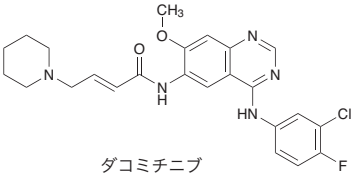
種類　薬物　［代表的な商品名］	作用機序	注意すべき副作用
インフルエンザ治療薬		
核酸合成阻害薬		
●ファビピラビル［アビガン］ 	インフルエンザウイルスの遺伝子複製酵素である RNA ポリメラーゼを選択的に阻害する	催奇形性

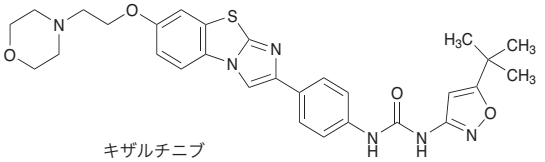
9 章 B　腫瘍内科領域の疾患に用いる薬物

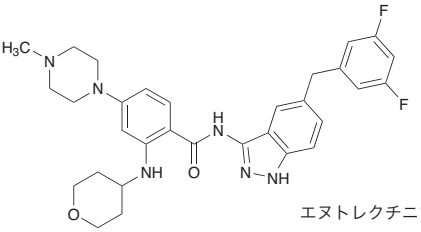
種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
アルキル化薬		
エチレンイミン類		
●チオテパ［リサイオ］（2019 年 3 月） 	DNA 合成を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	感染症，骨髄抑制，出血，肺水腫，浮腫，体液貯留，腎機能障害，胃腸障害，皮膚障害，血栓性微小血管症，肝中心静脈閉塞症，類洞閉塞症候群など
抗腫瘍ホルモン関連薬		
抗アンドロゲン薬		
●アパルタミド［アーリーダ］（2019 年 3 月）	アンドロゲン受容体に結合することで腫瘍増殖を抑制	痙攣発作，心臓障害，重度の皮膚障害，間質性肺疾患など

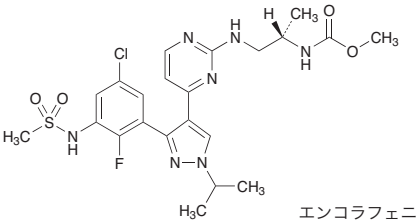
種類　薬物　［代表的な商品名］（収載年月）	作用機序	注意すべき副作用
抗体（受容体標的薬）		
●ネシツムマブ［ポートラーザ］（2019 年 6 月）	EGFR に結合し，EGF などのリガンドが EGFR に結合するのを阻害することで腫瘍増殖を抑制	動脈血栓塞栓症，静脈血栓塞栓症，Infusion reaction，低マグネシウム血症，間質性肺疾患，重度の皮膚障害，発熱性好中球減少症，重度の下痢，出血など
小分子分子標的薬（チロシンキナーゼ阻害薬）		
●ダコミチニブ水和物［ビジンプロ］（2019 年 1 月）	EGFR，HER2 および HER4 などのチロシンキナーゼ活性を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	間質性肺疾患，重度の下痢，重度の皮膚障害，肝機能障害など
●キザルチニブ［ヴァンフリタ］（2019 年 6 月）	FLT3 のチロシンキナーゼ活性を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	QT 間隔延長，心室性不整脈，感染症，出血，骨髄抑制，心筋梗塞，急性腎障害，間質性肺疾患など
●エヌトレクチニブ［ロズリートレク］（2019 年 6 月）	TRK などのチロシンキナーゼ活性を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	心臓障害，QT 間隔延長，認知障害，運動失調，間質性肺疾患など
小分子分子標的薬（セリン・スレオニンキナーゼ阻害薬）		
●エンコラフェニブ［ビラフトビ］（2019 年 1 月）	BRAF V600E 変異型の B-Raf キナーゼ活性を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	皮膚悪性腫瘍，眼障害，心機能障害，肝機能障害，横紋筋融解症，高血圧，高血圧クリーゼ，出血，手掌・足底発赤知覚不全症候群など
●ビニメチニブ［メクトビ］（2019 年 1 月） 	MEK1 および MEK2 の活性化ならびにキナーゼ活性を阻害することにより腫瘍増殖を抑制	眼障害，心機能障害，肝機能障害，横紋筋融解症，高血圧，高血圧クリーゼ，出血など
その他の分子標的薬		
●ベネトクラクス［ベネクレクスタ］（2019 年 9 月）	Bcl-2 を阻害することで，腫瘍増殖を抑制	腫瘍崩壊症候群，骨髄抑制，感染症など
ヒト体細胞加工製品		
●チサゲンレクルユーセル［キムリア］（2019 年 3 月）	CD19 キメラ抗原受容体 (CAR) を遺伝子導入した CAR 発現生 T 細胞により，腫瘍増殖を抑制	サイトカイン放出症候群，神経系事象，感染症，低γグロブリン血症，血球減少，腫瘍崩壊症候群など

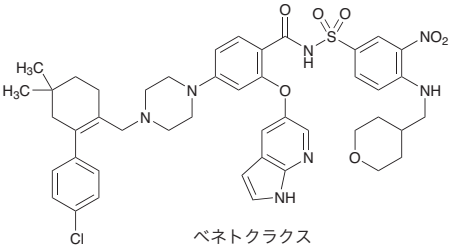

アパルタミド


ダコミチニブ


キザルチニブ


エヌトレクチニブ


エンコラフェニブ


ベネトクラクス